

部局 FD 活動報告

①都市教養学部 人文・社会系／人文科学研究科		
取り組みの現状	学生による授業アンケート等	各教室によって学問的な性質やアプローチの方法などが異なるため、現在、学系/研究科共通の取り組みとして、学生による授業評価アンケートは実施していない。統一したアンケートをとっても、異なる教室で比較参照することが困難で、さほど効果的ではないためである（独自にFDアンケートを実施している教室もある）。その代わりに、各教室ごとに、学生からフィードバックを受ける仕組みを設けていたり、少人数体制を活かし、教員と学生の密接な対話を通じて、授業の質や教育の方法に関する意見交換を行うなど、授業改善に取り組んでいる。
	研究会・講演会・セミナー等	全学で実施するFDセミナーや講演会に銘々で参加し、授業改善に向けた理解を深めた。学系・研究科単位での研究会は開催されなかったため今後の課題としたい。
	その他	部局FD委員で会合を持つことができなかったため、紙上授業見学会を開くという趣旨で「授業の工夫」パンフレット作成を計画した（2016年1月現在編集作業中）。各教室のFD委員を通じ、専門教育科目における授業の進め方、特に今年度全学FDのテーマである「主体的に考える力を育成する仕組み」にちなみ、学生からの発言やアイデアを引き出す方法について原稿を依頼した。
今後の予定・展望	部局独自の取り組みとしてパンフレット作成に着手したことは大きな一歩となった。パンフレット作成をきっかけに、教室間の情報交換の機会を増やし、他教室の取り組みのよいところをお互い学べるようにしていきたい。	

②都市教養学部 法学系法律学コース・政治学コース		
取り組みの現状	学生による授業アンケート等	通年開講の専門教育科目（10科目）を対象として、学生による授業評価アンケートを実施した。年度末までに集計結果をまとめ、各担当教員にフィードバックし、来年度以降の教育活動の改善に役立てる。
	研究会・講演会・セミナー等	「法学系FD委員会」（「大学院社会科学研究所法学政治学専攻FD委員会」と合同。大学院（社会科学研究所法学政治学専攻）主任、FD委員、教務委員、基礎教育部会委員で構成）を組織している。
	その他	
今後の予定・展望	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでに実施した授業評価アンケートの結果を、個々の教員のレベルにおいて、自らが担当する授業や教育環境の改善に反映させていく。 ・法学系のFD活動のあり方に関する法学系FD委員会における議論をより活発化させる。 ・各専門領域の教員間で、カリキュラムや講義のあり方について検討する機会を定期的に設け、法学系全体の教育効果の改善・充実につなげていきたい。 	

③社会科学研究科 法学政治学専攻

取り組みの現状	学生による授業アンケート等	各クラスの受講者が極めて少ないため、学生による授業評価はなじまない。授業の効果は、研究者養成を主眼とする大学院の場合、各分野における総合演習や修士論文・博士論文といった成果によって評価される。
	研究会・講演会・セミナー等	<p>【全体の取り組み】 「大学院社会科学研究科法学政治学専攻FD委員会」（「法学系FD委員会」と合同。大学院（社会科学研究科法学政治学専攻）主任、FD委員、教務委員、基礎教育部会委員で構成）を組織している。</p> <p>【政治学分野】 ①毎月、教員・院生全員が参加する「政治学総合演習」を開催し、研究・教育水準の向上を図っている。 ②毎月、政治学分野の教員による「スタッフミーティング」を開催し、大学院の教育及び研究指導等に関する意見交換を行っている。 ③政治学分野に所属する全教員・院生で構成される「政治学FD会議」を開催している。政治学FD会議は、学期初の回（4月・10月）では、教員が当期の講義・演習の概要・趣旨等を説明し、意見交換を行う。これを踏まえ、学期末の回（9月・3月）では、学期初に掲げた授業目標の達成度等に関する情報交換を行うと共に、講義・演習に参加した院生との意見交換を行い、授業内容の改善に努めることとしている。</p> <p>【法律学分野】 ①教員・院生全員が参加する「法律学総合演習」を定期的に開催し、研究・教育水準の向上を図っている。 ②毎月、法律学分野の教員による「スタッフミーティング」を開催し、大学院の教育及び研究指導等に関する意見交換を行っている。</p>
	その他	
今後の予定・展望	2007年度から大学院FDの実施が求められていることを踏まえ、法律学・政治学総合演習等を中心とした自己点検・評価及びFD活動のさらなる充実に向けた検討を、大学院社会科学研究科法学政治学専攻FD委員会を中心に行っていく予定である。	

④社会科学部 法曹養成専攻		
取り組みの現状	学生による授業アンケート等	法科大学院の教育等の改善及び充実のためのアンケート調査を、各学期ごとにすべての法科大学院生を対象に実施している。このアンケート調査において、すべての授業科目について学生による授業評価を行うとともに、あわせて授業内容や方法、学習支援体制（オフィスアワーなど）、施設や設備等に対する要望等を尋ねている。授業評価のほか、授業に関する要望について当該科目の担当教員にフィードバックし、教育活動等の改善に役立っている。このアンケートで挙げられた要望等をFD会議で検討し、学習環境の改善に役立っている。
	研究会・講演会・セミナー等	①FD会議等の実施 毎月1回、授業を担当する教員から構成されるFD会議を開催し、学生の学習状況や授業方法等についての情報の共有化を図るとともに、法科大学院における教育等についての意見交換を行っている。さらに、専門領域ごとにFDに関するミーティングを適宜開催している。 ②各種の団体が実施するセミナー等への参加 法科大学院教育、司法試験、第三者評価等に関して、法科大学院協会、大学評価・学位授与機構、日弁連等の各種団体が実施する検討会やセミナー等に参加している。
	その他	2004年度は、法科大学院設置申請に際して、文部科学省による教員審査を受けている。また、2004年11月、2005年7月に文部科学省による法科大学院設置年次計画履行状況実地調査を受け、2006年11月に、文部科学省による法科大学院設置計画履修状況面接調査を受けた。さらに、2008年度、2013年度には、法定化されている大学評価・学位授与機構による法科大学院認証評価（第三者評価）を受けた。なお、2007年度以降、法科大学院の各年度における自己点検・評価結果については、外部委員による評価を行い、年度ごとの自己評価書を公表している。
今後の予定・展望	2013年度の法科大学院認証評価の結果を踏まえ、法科大学院における教育・研究の質の向上を実現すべく、上記のような取り組みを継続する。 しかし、継続的に上記のような取り組みを実施し、法科大学院をより良いものとするために人的体制を整備する必要があることは、文部科学省による法科大学院設置計画履修状況の面接委員、法科大学院認証評価結果等において指摘されているところである。 したがって、今後も、優秀な教員を採用するための人事枠・制度の拡充、正規雇用職員の増員を中心とする事務体制の整備、これらを可能にする予算措置を至急講じなければ、適正な法科大学院の運営はきわめて困難である。今後も法科大学院認証評価（第三者評価）を受けらるうで、管理課長が週に一度（2時間程）しかない現在の事務体制の強化が必須である。	

⑤都市教養学部 経営学系		
取り組みの現状	学生による 授業アンケート等	前期・後期それぞれにおいて授業アンケートを実施した。前期は2015年6月5日(金)から18日(木)に前期開講科目44科目、後期は2015年11月9日(月)から20日(金)に後期開講の新設・再開・担当者変更の17科目を対象とした。回答はWEB形式で行い、回答率はそれぞれ、前期32.3%(履修者が計5,944名に対して回答者は計1,920名)、後期34.8%(履修者が計2,321名に対して回答者は計808名)であった。アンケート結果はアンケート実施の約3週間後に担当教員にフィードバックし、教員の授業改善に努めている。また、アンケート結果を授業内で学生にフィードバックすることを通じて、学生の学習意欲の向上にも努めている。
	研究会・講演会・ セミナー等	6月のFD・SDセミナーでは課題研究発表を、11月のFDセミナーでは学内事例報告を本学教員が担当したこともあり、両セミナーへの参加を呼び掛け、多数の教員に参加いただくことができた。また、両セミナー以外にも、教員間で授業改善について積極的な意見交換を行った。
	その他	教員が相互に授業を見学し意見交換を行う期間を設定し、授業改善に役立っている。また、体系的な学習の促進を目指して学生に複数の「学習モデル」を提示し、学生が自らの興味に合わせて長期的な履修計画をたてやすくするような取り組みを行っている。
今後の予定・展望		引き続き、授業アンケート、授業見学、学習モデルの提示を通じて、学生に対して自発的・能動的な学習を促す努力を継続する予定である。授業アンケートの実施時期について、前期もアンケート結果のフィードバックを授業期間中に実施できるように、実施時期を早める方向で検討を進めたいと考えている。

⑥社会科学部 経営学専攻		
取り組みの現状	学生による 授業アンケート等	前期・後期それぞれにおいて授業アンケートを実施した。前期は2015年7月6日(月)から25日(土)に前期開講科目22科目、後期は2015年11月9日(月)から21日(土)に後期開講の25科目を対象とした。回答はWEB形式で行い、回答率はそれぞれ、前期47.8%(履修者が計358名に対して回答者は計171名)、後期35.6%(履修者が計320名に対して回答者は計114名)であった。アンケート結果はアンケート実施の約3週間後に担当教員にフィードバックし、教員の授業改善に努めている。また、アンケート結果を授業内で院生にフィードバックすることを通じて、院生の学習意欲の向上にも努めている(後期のみ実施)。
	研究会・講演会・ セミナー等	本専攻の高度専門職業人養成プログラムにおいては、継続的に教員間で意見交換を行い、授業改善に努めている。また、FD・SDセミナー、FDセミナーなどへの積極的な参加を通じて、能動的な学習を促すような授業スタイルの改善に継続的に取り組んでいる。
	その他	今年度も昨年度に引き続き、後期の授業アンケートの実施時期を例年より1か月ほど早めたため、教員または院生へのアンケート調査のフィードバック時期を早めることができた。
今後の予定・展望		引き続き、授業アンケートや教員間の意見交換を通じて自発的・能動的な学習を促す授業を構築していく。授業アンケートの実施時期について、前期もアンケート結果のフィードバックを授業期間中に実施できるように、実施時期を早める方向で検討を進めたいと考えている。

⑦都市教養学部 理工学系		
取り組みの現状	学生による授業アンケート等	<p>(1) 理工学系6コースのすべての専門教育科目に対して、前期（7月）と後期（1～2月）に、「授業改善のためのアンケート（学生用）」調査を実施した。質問項目については、年変化を追跡できるように例年通りとした。自由記述式の設定は全学アンケートに準じている。また、授業担当者が設問できる問いを積極的に利用してもらうよう、前期・後期とも「質問例集」を作成し、授業担当者に配布した。</p> <p>(2) 昨年度後期分の学生アンケートの集計結果を6月に、今年度前期分の学生アンケートの集計結果を11月に、それぞれ各教員へ返却した。学生の自由記述については、原文のまま各授業担当者に返却した（ただし、差別用語のみは除かれている）。アンケート結果のうち、数値化されている回答に関しては、理工FD委員会において今後の課題や授業改善の到達状況について議論した。</p> <p>(3) 授業担当者に対しては、「理工学系専門教育科目に関する授業改善アンケート」を、秋に実施し、それらの回答を集計して、教室環境改善などの整備を行った。今年度は、教室の冷暖房についての意見・提案を全学のFD委員会でを行った。</p>
	研究会・講演会・セミナー等	毎月（8月と2月を除く）、理工学系FD委員会を開催し、各コースにおけるFD活動の報告と意見交換を行うとともに、授業アンケートの方法、成績評価基準、セミナー実施など理工学系FD委員会として検討すべき事項について議論を行った。
	その他	特になし。
今後の予定・展望		学生による授業改善のためのアンケートを今後も実施し、今後の更なる改善点を検討する。

⑧理工学研究科		
取り組みの現状	学生による授業アンケート等	理工学研究科を構成する6専攻において、各専攻ごとの特色も勘案しながら、個々に大学院生に対するアンケート調査などを行い、毎月、開催される理工学研究科FD委員会（理工学系FD委員会と兼ねる）でその結果について議論した。大学院生の場合、授業を受講する時間より、研究室で研究活動に費やす時間が圧倒的に多いことを考慮して、大学院講義に対する評価に加え、研究に対する満足度、研究環境、研究・勉学へのサポート体制に対する要望収集も質問項目に含められている。FD委員会のみでは改善が困難な場合は、適宜、教務委員（大学院担当）、専攻長などとも相談し、改善を図る。
	研究会・講演会・セミナー等	今年度初めて開催された大学院生向けのFD活動「STA・TA研修」（2015年10月16日首都大学東京FD委員会主催）では、理工学研究科から16名の大学院生（主にSTAに就任した博士課程院生）が参加し、学部生を対象にした実習・演習・講義補助などに積極的に参画・貢献する為の考え方、方法を90分に渡って実践するトレーニングを実施した。また毎月、開催される理工学研究科FD委員会（理工学系FD委員会と兼ねる）では、各専攻におけるFD活動の報告と意見交換を行うとともに、カリキュラムや講義内容を検討する会合を持ち、授業改善と研究環境改善に関する施策など、理工学研究科として検討すべき事項について議論している。
	その他	特になし。
今後の予定・展望		大学院の授業改善については、それぞれの専門課程における授業の特殊性も考慮して、各専攻ごとに改善に取り組んでいく。今後も引き続き学部・研究科合同のFD部会を定期的で開催し、全学FD委員会との連携、FDの共通認識の形成、具体的取り組みの実施検討を行う。

⑨都市環境学部		
取り組みの現状	学生による授業アンケート等	非常勤講師担当科目、実験・演習などの科目、受講者数が10名程度以下の科目これらを除く今年度開講科目について、前期、2015年7月9日(木)～7月27日(月)の期間にアンケートを行った。アンケートの実施・回収状況は、以下の通りである。学生アンケートは、対象科目数 61、返却科目数 58(回収率95.1%)、履修登録者2,645、回答者数2,040(回答率77.1%)だった。教員アンケートは、対象教員数(延べ人数) 97、返却教員数 87(回収率89.7%)だった。後期については、2016年1月7日(木)～1月25日(月)の期間にアンケートを行った。結果の集計は、この報告書の提出時に出していない。
	研究会・講演会・セミナー等	
	その他	アンケートの教員へのフィードバックに関しては以下の通り。 1 個々の科目データについては、自由記述のフィルタリング後、主担当教員へ配信。 2 今回の集計結果並びに自由記述については、都市環境FD委員会にて共有。
今後の予定・展望		学生による授業評価・教員による授業評価結果を次年度の授業に活用することによって、改善に取り組んでいく。

⑩都市環境科学研究科		
取り組みの現状	学生による授業アンケート等	非常勤講師担当科目、実験・演習などの科目、受講者数が10名程度以下の科目これらを除く今年度開講科目について、前期、2015年7月9日(木)～7月27日(月)の期間にアンケートを行った。アンケートの実施・回収状況は、以下の通りである。学生アンケートは、対象科目数 20、返却科目数 18(回収率90.0%)、履修登録者567、回答者数344(回答率60.7%)だった。教員アンケートは、対象教員数(延べ人数)35、返却教員数 28(回収率80.0%)だった。後期については、2016年1月7日(木)～1月25日(月)の期間にアンケートを行った。結果の集計は、この報告書の提出時に出していない。
	研究会・講演会・セミナー等	
	その他	アンケートの教員へのフィードバックに関しては以下の通り。 1 個々の科目データについては、自由記述のフィルタリング後、主担当教員へ配信。 2 今回の集計結果並びに自由記述については、都市環境FD委員会にて共有。
今後の予定・展望		学生による授業評価・教員による授業評価結果を次年度の授業に活用することによって、改善に取り組んでいく。

⑪システムデザイン学部／システムデザイン研究科		
取り組みの現状	学生による授業アンケート等	システムデザイン学部で開講された授業(演習、実験科目を除く)について、学生による授業改善アンケートを前期開講科目については2015年7月、後期開講科目については2016年1月に実施した。アンケート結果を各科目毎にまとめ、各授業担当教員にフィードバックを行った。また、SD学部・研究科FDニュースとして配布、周知を行い、授業改善に努めた。また本年度より、学生に対するアンケートで、教室環境に関して状況を把握し改善につなげるための質問を設け実施した。
	研究会・講演会・セミナー等	STA・TA研修が2015年11月6日(金)日野会場(2号館4階405講義室)で開催された。システムデザイン研究科より27名(学部生を含む)、多数の学生が参加して行われた。STA・TAとしての役割、他のSTA・TAとの意見交換ができて良かったとの意見が研修後寄せられた。 2015年11月20日開催の首都大学東京FDセミナー「能動的学びの実践と学習成果の評価」について、テレビ会議システムを用いて日野キャンパス会場(1号館2階会議室)への中継を行った。
	その他	
今後の予定・展望		今後も引き続き学部・研究科合同のFD部会を定期的で開催し、全学FD委員会との連携、FDの共通認識の形成、具体的取り組みの実施検討を行う。システムデザイン学部実施の授業評価アンケートについて、実施科目の見直しも含めて、来年度中に協議する。さらに、アンケートの質問項目の削減を含めた再検討や個々の教員の授業改善へつなげていく方策などを検討したい。

⑫健康福祉学部／人間健康科学研究科		
取り組みの現状	学生による授業アンケート等	健康福祉学部で前期・後期に開講された科目について学生による授業改善アンケートを実施した。前期・後期ともに回答結果に基づく学年別および講義・演習・実習別の計7種類の集計を別途行い、授業担当教員にフィードバックした。年度途中で授業アンケートの用紙の在庫がなくなったため、他学系のアンケートを参照しながら質問項目を見直して後期にはその新たな用紙を使用した。
	研究会・講演会・セミナー等	FD委員会が行うFDセミナーを広く周知し参加を促している。今年度は、東京大学医学教育国際研究センター 特任准教授兼米国カリフォルニア大学デービス校医学部教授 マラティ・スリニヴァサン 先生に、教育の一環としての入試：医学部入試におけるMultiple Mini Interviewの活用と限界についてお話しいただく予定である。
	その他	健康福祉学部・人間健康科学研究科FD委員会部会を計4回開催する予定である。今年度は、授業改善アンケートの内容の見直しを行った。
今後の予定・展望		全教員におけるFDに関する共通認識の形成およびボトムアップ型の改善への取り組みを中心にFD活動を進めていきたい。また、個々の教員レベルにおける授業改善の取り組みの情報を共有する仕組みの実現についての検討を継続していきたい。

FD 委員会活動報告

平成 27 年度 FD 委員会活動記録

平成 27 年度 FD 委員会委員

平成 27 年度 F D 委員会活動記録

【研修・セミナー】

平成 27 年 4 月 2 日 (木) 新任教員研修

- ・首都大学東京の概要と教育プログラムの紹介 山下 英明 (大学教育センター長・FD 委員会委員長・副学長)
- ・本学の学生支援について 繁田 雅弘 (前学生サポートセンター副センター長)
- ・本学の事務組織及び運営体制の概要 松木 知子 (大学教育推進担当課長)
- ・授業デザインに関する講演&ワークショップ「シラバスを通じた授業デザイン～マクロな目標からミクロな手法へ～」
大森 不二雄 (大学教育センター 教授)

平成 27 年 6 月 25 日 (木) F D・S D セミナー

テーマ「首都大学東京における教育の新たな展開～次の 10 年に向けて～」

- ・学長挨拶「首都大学東京における教育～これまでと今後～」
上野 淳 (首都大学東京 学長)
- ・基調講演「教育研究の高度化に資する大学組織の構築～未来を拓き、社会に支持される大学を目指して～」
吉武 博通 (筑波大学ビジネスサイエンス系 教授)
- ・教職員による課題研究発表「教育・環境整備の取組事例 ～教職員それぞれの立場から～」
野口 昌良 (経営学系 教授)、高桑 文、牛島 正春 (国際課)、成瀬 茜 (荒川キャンパス管理課)
- ・パネルディスカッション「首都大学東京の現状と課題～今後の在り方を探る～」

平成 27 年 11 月 20 日 (金) F D セミナー

テーマ「能動的学びの実践と学習成果の評価」

- ・基調講演「ディープ・アクティブラーニングの方法とその評価」
松下 佳代 (京都大学高等教育研究開発推進センター 教授)
- ・学内事例報告「能動的学びを促す授業の実践事例」
福田 公子 (都市教養学部理工学系 准教授)
西内 信之 (システムデザイン学部 准教授)
荒戸 寛樹 (都市教養学部経営学系 准教授)
- ・パネルディスカッション

【授業改善アンケート】

平成 27 年 7 月 9 日 (木) ～ 7 月 27 日 (月) 前期授業改善アンケート実施

(基礎ゼミナール、情報リテラシー実践 I、実践英語 Ia、理系共通基礎科目、キャリア教育科目、教養科目群・基盤科目群)

平成 28 年 1 月 7 日 (木) ～ 1 月 25 日 (月) 後期授業改善アンケート実施

(情報リテラシー実践 II、実践英語 IIb、未修言語科目、理系共通基礎科目、キャリア教育科目、教養科目群・基盤科目群)

【平成27年度FD委員会 議事一覧】 各回の議事から、主なものを掲載

	審議事項	報告事項
第1回 (4月23日)	<ul style="list-style-type: none"> 委員の追加について 前期授業改善アンケートの実施について 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度新任教員研修の開催報告 平成26年度決算及び平成27年度予算 教育改善に関する意見・提案の募集について 平成27年度FD委員会検討事項について 各部署FD委員会報告
第2回 (5月28日)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度授業改善アンケートの質問項目について 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度FD・SDセミナーのご案内 障がい学生のアンケート実施方法について TAハンドブックについて 各部署FD委員会報告
第3回 (7月23日)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度STA・TA研修の企画について 平成27年度FDセミナーの企画について 授業改善ハンドブックの作成について 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度FD・SDセミナーの開催報告 各部署FD委員会報告
第4回 (9月24日)	<ul style="list-style-type: none"> 前期授業改善アンケートの自由記述フィルタリングについて 後期授業改善アンケートの実施について 	<ul style="list-style-type: none"> 前期授業改善アンケートの集計結果報告 STA・TA研修について 授業改善ハンドブックについて 平成27年度FDセミナーについて プレーストリーミング 各部署FD委員会報告
第5回 (10月22日)	<ul style="list-style-type: none"> リーフレット「Study+」の企画について FDレポート「クロスロード」第15号の発行について 	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度FDセミナーについて STA・TA研修について 授業改善アンケートの英訳対応について 各部署FD委員会報告
第6回 (11月26日)	<ul style="list-style-type: none"> 授業改善アンケートの空調設備に関する記述について 	<ul style="list-style-type: none"> STA・TA研修報告 平成27年度FDセミナー開催報告 プレーストリーミング 各部署FD委員会報告
第7回 (12月24日)	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度STA・TA研修の企画について 平成28年度年間活動テーマ及び年間活動計画案について 	<ul style="list-style-type: none"> 全学共通科目の授業改善アンケートの取扱いに関する細則の改正について 平成27年度各部署FD活動報告書の作成について 各部署FD委員会報告
第8回 (1月28日)	<ul style="list-style-type: none"> 教育改善点調査について 平成27年度新任教員研修について 	<ul style="list-style-type: none"> 「クロスロード」第15号の編集状況報告 各部署FD活動状況の調査報告 リーフレット「Study+」の制作状況について 各部署FD委員会報告
第9回 (3月23日)	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年FD・SDセミナーについて 後期授業改善アンケートの自由記述フィルタリングについて 	<ul style="list-style-type: none"> 「クロスロード」第15号の発行について 後期授業改善アンケートの集計結果報告 各部署FD委員会報告

【平成27年度FD委員会委員】

	所 属	氏 名
委員長	大学教育センター長	山下 英明
委員	都市教養学部人文・社会系	荒木 典子
〃	人文科学研究科	何 彬
〃	都市教養学部法学系	木村 草太
〃	社会科学部研究科	浅野 敬志
〃	都市教養学部経営学系	〃
〃	都市教養学部理工学系	清水 敏夫
〃	理工学研究科	川原 裕之
〃	都市環境学部	橘高 義典
〃	都市環境科学研究科	〃
〃	システムデザイン学部	菊竹 雪
〃	システムデザイン研究科	〃
〃	健康福祉学部	繁田 雅弘
〃	人間健康科学研究科	〃
〃	大学教育センター	大森不二雄
〃	〃	松田 岳士
〃	教務委員会委員長	横田 佳之
〃	基礎教育部会部会長	笠松 慶子
事務局	首都大学東京管理部教務課	大学教育推進担当課長 松木 知子
〃	〃	教務企画係長 宮本 貴之
〃	〃	教務企画係 谷中佐江理